

ヘルシーな健康応援ナビ

NAVİ

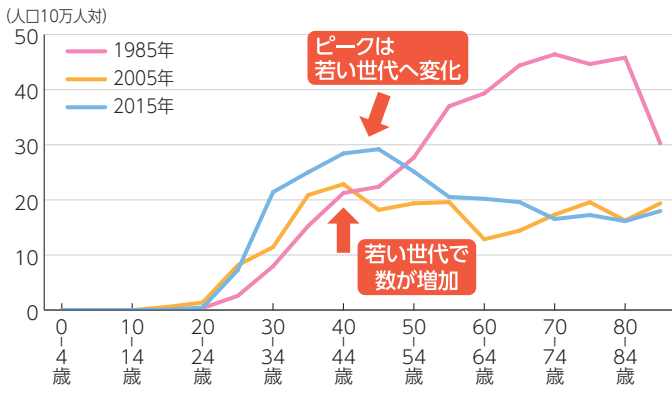


健康課
市役所内
☎23-3515 FAX 23-3810
あつみライフランド
☎33-0386 FAX 33-0319

子宮頸がんを予防しよう

日本では1年間で約1万1000人が子宮頸がんを診断され、そのうち約2800人が死亡しており、患者数・死亡数ともに近年増加傾向にあります。子宮頸がんの罹患率は20歳代後

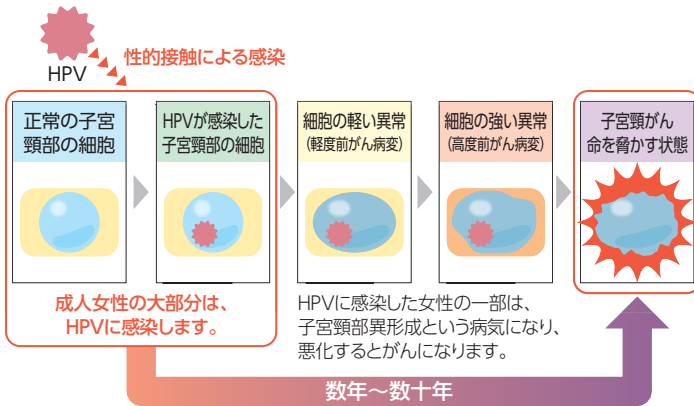
●子宮頸がんの年齢階級別罹患率(上皮内がんを含まない)



半から増加し、40歳でピークを迎え、その後横ばいになります。若い世代での罹患の増加が問題となっています。

◆子宮頸がんの原因

子宮頸がんの95%以上は、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が関



成人女性の大部分は、HPVに感染します。

HPVに感染した女性の一部は、子宮頸部異形成という病気になる、悪化するとがんになります。

数年~数十年

◆子宮頸がん検診について

本市では、6月から令和4年1月末まで、市内および豊橋市内の指定医療機関にて無料で実施します。対象年齢は、今年度末時点で20歳から79歳までの方で、2年に1回検診を受けることができます。また、妊婦健診でも子宮頸がん検診を実施しています。

◆HPV検査について

子宮頸がん検診のオプションとしてHPV検査(自己負担額2000円)

を実施しています。検診対象者で25歳から65歳までの希望者が受けることができます。

検査内容は、子宮頸がん検診と同様に子宮頸部から専用器具で細胞を採取して、HPVを検出することで感染の有無を調べることができます。1回の検診で2種類の検査ができます。

令和元年度の時点で、県内でHPV検査を実施しているのは本市を含めて7市ですが、その中で本市は2番目にHPV検査の受診者が多く、子宮頸がんやがん予防に対する市民の意識が高いことが分かります。

◆子宮頸がんワクチンについて

もう一つの予防策はワクチンの接種です。HPVの中で、特に発がん性が高いウイルスに対し有効なワクチンで、50%70%の予防効果があると言われています。ワクチンは2種類あり、それぞれ3回の接種が必要です。接種対象は、中学1年生から高校1年生相当の方です。詳しくは市HPVをご覧ください。ワクチンの安全性・副反応などを本人と保護者が十分理解した上で接種を希望する場合は、予診票を発行しますので、健康課にご連絡ください。また、20歳を過ぎたら、子宮頸がん検診を2年に1度は受診しましょう。